



がんばれ!! 岡山シーガルス

(2月5日 市民体育館)

V・プレミアリーグ女子バレーボール岡山大会(同実行委員会主催)が開催され、市民ら約1450人が迫力あるプレーを楽しみました。

会場は、立ち見が出るほどの超満員。プロならではのスピード感溢れるプレーが繰り広げられ、好プレーが出るたびに会場には割れんばかりの歓声が響いていました。

“ゆべしパフェ”いかがですか

(1月15日 栄町商店街)

栄町商店街の空き店舗を活用し、地元高校生が11月から取り組んでいる商店街活性化プロジェクト。この日は高梁日新高のチャレンジショップが開かれ、特産品のゆべしを使った生徒考案のミニパフェや、備中松山城など高梁の名所写真をプリントするオリジナルTシャツが販売されました。

同校は、ほかにネイルショップを開催。また、高梁高の手芸や英語講座、高梁城南高のものづくり講座なども開かれました。



福祉と環境の融合を目指して

(1月29日 総合文化会館)

本市名誉市民で社会福祉法人・旭川荘名管理理事長の江草安彦さんが会長を務める環境福祉学会の第17回事例研究会が開かれました。

愛媛県愛南町のNPO法人「ハートinハートなぐん市場」理事で精神科医の長野敏宏さんが、住民と精神障害者による町温泉施設運営などの活動を報告。島根県雲南市の木次乳業(有)相談役・佐藤忠吉さんの自然に従った酪農の実践についての発表もありました。

今回の事例研究会は初の地方開催で、来年の年次大会も本市での開催が予定されています。



私たちが考えた給食、おいしいよ

(1月28日 成羽小学校ほか)

全国学校給食週間(1月24日~30日)に合わせ、成羽小6年生が考えた献立が市内小中学校の給食に登場しました。メニューは「若鶏のユズみそあえ」「野菜とたくあんのカリカリあえ」「団子汁」など。布寄地区のユズ、吹屋地区のみそやしょうゆといった成羽地域の特産物や、地元産の旬の野菜をふんだんに使った内容で、家庭科の授業で実際に作ってみるなどして研究を重ね考えたものです。

児童が考える献立は、昨年度の小学生子ども議会での提案で始まり、有漢西小に続き2回目。



カメラ

あらかると



高梁のPRを全国に

(1月24日 横浜市内ホテル)

市は、映画「男はつらいよ」シリーズの撮影で本市に縁のある女優の倍賞千恵子さんと、夫で作曲家の小六禮次郎さん(岡山市出身)を「備中高梁PR大使」に委嘱しました。

委嘱式は終始和やかに行われ、二人は「多くの人に高梁の魅力を伝えていきたい」と抱負を述べました。今後は、市のイベントなどで本市を訪れるほか、PR大使の名刺を全国で配るなどしてPRに努めていただく予定です。

親子で楽しく体を動かそう

(1月27日 総合文化会館)

未就学・園の幼児と保護者を対象とした、親子ふれあい健康講座「親子で楽しもう!! ~Let's親子ビクス~」が開かれました。

福山市のフィットネス講師・苅部美千代さんの指導で、参加した親子は子どもの好きなアニメ音楽などに合わせ、一緒にリズム体操を楽しみました。

今回の講座は、市の子育て支援事業の一つ「これでばっちり!子育て応援講座」の一環として行われたもので、2月24日(木)、3月9日(水)にも予定されています。



三世代交流凧揚げ大会

(1月30日 成羽町布寄・中出荷場)

「中央高原三地域三世代交流手づくり凧揚げ大会」が行われました。この催しは、三世代の交流を通してまちづくりを進めようと、宇治町、成羽町中・吹屋地区で組織する高梁市中央高原三地域懇談会が主催して開いたもので、今回で5回目。

約80人の参加者は、自分たちで製作した凧が空高く揚がると、大きな歓声を上げていました。



100歳おめでとうございます

1月に100歳(明治44年生まれ)の誕生日を迎えられた2人を、市職員らが訪問し記念品や花束を贈って長寿を祝いました。

市内で100歳以上の人は、1月31日現在で32人(男性9人、女性23人)。



山野上 一郎さん
(成羽町小泉)



野田澤 政子さん
(原田南町)